

# democracy, human rights and solidarity - deepdemocracycenter

ディープデモクラシー・センターの  
地域活動、支援活動は、皆さまからの会費・ご寄付に  
より支えられています。

ディープデモクラシー・センターでは、  
会員として運営を支えてくださる方を募集しています。

勉強会、講演会など各種イベントにご参加いただけます。  
(当団体の催しは原則会員向けのものとなっています)  
活動報告、最新情報などを掲載した会報誌をお届けします。  
メールニュースにてイベント情報や活動情報などをご案内します

## ■ 入会方法

いずれかの方法で一般会員年会費¥3000をお支払い下さい。

○郵便局（ゆうちょ銀行）振込

00100 - 5 - 361526

加入者名 NPO法人ディープデモクラシー・センター

○銀行振込

ジャパンネット銀行 すずめ支店 普通 2685335

特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター

[ 特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター ]

設立 2014年4月 (法人格取得2015年5月)

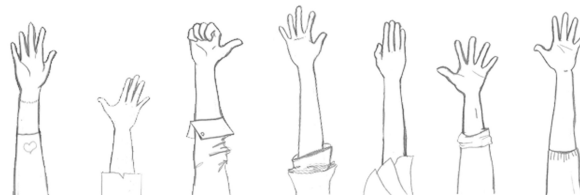
代表理事 桑田 雅子

千葉県松戸市常盤平陣屋前7-8 富士マンション305号

千葉県鴨川市金東5 (里山オフィス)

TEL 047-701-5350 Facsimile 050-3737-9081

Email info@deepdemocracy.center



<http://www.deepdemocracy.center>

かつて、暮らしと祈りは、いったいのものだった。  
暮らしと生産は分けることができないものであり、  
より良く生きるために、祈りは暮らしの中に、  
かかすことのできないものだった。  
いつの頃からか、  
ボクたちは暮らしのなかから祈りと生産をなくしてしまった。  
いまでは、消費することしか、  
じぶんたちの暮らしを成り立たせることができなくなってしまった。

ボクたちは、いまこそ、  
この現実を変えたい、と思う

市民社会を成熟させて、  
自治自律自給をすすめていきたい、と思う。

ボクたちがコミュニティの主体として、  
知恵と責任をもって自治を担うこと。  
まずはそこからだ。

そして、話し合いだ。  
相手を知ること、  
多様性をありのままに受け入れること。  
まずはそこからだ。

この社会に暮らす多様な人々が、  
多様なままに、お互いを理解しあい、  
対立を乗り越えて、  
地域課題を解決していけるように。

そんな社会をめざして、いま、  
ディープデモクラシー・センターを、はじめよう。

特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター  
設立趣旨書 (2015年2月)

さて ぼくらは もう一度  
倉庫や 物置や 机の引出しの隅から  
おしまげられたり ねじれたりして  
錆びついている<民主主義>を 探しだ  
してきて 錆びを落とし 部品を集め  
しっかり 組み立てる  
民主主義の<民>は 庶民の民だ  
ぼくらの暮らしを なによりも第一にする  
とうことだ  
(花森安治「見よぼくら一銭五厘の旗」)

それからずいぶんと月日がたったけど、  
ボクたちは、けっきょくのところ、  
民主主義を機能させることができないまま、  
今日までできてしまった。

みんながあつまって、社会をつくり、  
地域をおさめていくために、  
かつてボクたちは、  
現金を得るための労働＝カセギとはべつに、  
社会的、公益的な労働＝ツトメを通して、  
地域の自治に関わってきた。

みんなで集まって、  
話しあい、自分たちのこととして取り組んできた。  
けれど、いまでは、なんでも役所まかせで、  
家の前にゴミがあると、役所に電話して片付けると言う。  
対応が遅かったり、やり方が気に入らなければ、文句を言う。  
なんでもまかせっぱなしで、文句を言うばかりだ。

みんながおおぜいあつまって、  
いっしょに暮らしていくために、  
ボクたちは、じぶんたちの代表を選んで、  
いっしょうけんめいルールをつくり、  
そのルールを心がけて暮らしてきた。  
そのルールに不都合があれば、  
みんなで集まって、話しあい、より良くしようとしてきた。  
いまでは、そんなこともすっかり忘れて、  
なにをやっても変わらない、だれを選んでも変わらない、  
なんでもまかせっぱなしで、文句を言うばかりだ。

## 多様性を活かした地域を

さまざまなひとの「違い」  
を、「違い」として受け  
とめることのできる柔軟  
性のあるコミュニティづく  
りをすすめています。



哲学対話に使うコミュニティボール作り（地域の子どもまつり）

地域の課題に取り組むCSO（Civil Society Organization）として

わたしたち、ディープデモクラシー・センターは、地域  
の課題に取り組んでいくCSOです。様々な地域の課題、  
社会の課題からうまれてくるニーズに応えるべく、日々、  
ストリートを走り回っています。自分たちが何をしたい  
か、ではなく、何を求められているか、を常に意識し、  
次々と立ち現れてくる課題に、文字通り、体当たりでぶ  
つかっています。精神障害を持つ方の場づくり支援、ホーム  
レス、路上生活者の支援、ビーチクリーン活動、子ども  
たちへの教育支援、地域密着型書籍の電子化、地域で  
の対話の促進など、支援の現場で活動しています。

## 路上生活からもういちど

いちど失敗しても立ち直  
ることのできる社会を目  
指しています。「自己責任」  
ではなく「他者感覚」こ  
そ重要だと信じています。

## 社会参加・地域参加を促進

ボランティア・コーディネー  
ターの育成、ボランティア  
体験事業など、社会参加、  
地域活動を促進する事業を  
行っています。

## 市民活動団体を支援

市民社会の成熟を目標と  
し、様々な地域の課題、  
社会の課題に取り組む市  
民活動団体をエンパワーメ  
ントしています。



大学の授業でのホームレス路上生活者支援のプレゼン

NPO、市民活動団体を支援する中間支援組織として

わたしたち、ディープデモクラシー・センターは、地域  
の課題に取り組んでいくCSOであると同時に、様々な地  
域の課題、社会の課題に取り組む、NPOや市民活動団体  
をお手伝いする中間支援組織でもあります。乱開発を止  
めようとする環境保護団体、視覚障害のある方の地域生  
活を支援する団体、精神疾患のある方の一般就労をすす  
める団体などさまざまな団体の活動の支援をしています。  
無料の市民活動相談を行い、そこから活動へつながり、  
支援へと進んでいきます。市民活動センターへの出講や  
県のボランティア参加促進の受託事業も行っています。